

No.	砧 三 章	演奏者数	演奏時間
-----	--------------	------	------

舞台配置図

客 席

表示記号一覧	一 箏	=17絃	+三絃	0 尺八	≠ 他楽器	*マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハンター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44				編成：1箏						2箏			17絃			
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾				
1 箏						F#					F#			平調子より四九一音↑ 一は六の乙			
	F	A	B	D	E	F	A	B	D	E	F	A	B				
2 箏			G					G						本雲井より六斗一音↑ 一は六の乙			
			F#		C			F#	A#			F#					
	D	E	F	A	B	D	E	F	A	B	D	E	F				
17絃				F#							F#						
	B	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E
				F#							F#						
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	1	2	3	4	5	6	7

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1962年 委嘱者 一 構成 箏 I・II・十七絃 時間 10分 出版楽譜 邦楽社

解説 第一章と第三章は砧地をとり入れながら、リズムの絡みと流れを軽快に表現していきませんが、間に挟まった二章では、謡曲「砧」をテーマに置いて、秋の終りの寒々とした季節感、三連音による虫の声等、ドラマチックな表現が演奏者に要求されています。また十七絃には箏曲「五段砧」がパラフレーズされ、ここに古典と現代が綾なされます。1962年作曲。〔作曲者〕収録媒体 箏 沢井忠夫作品集4 (VZCG-581)